

意見書第30号

「米海兵隊垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める意見書」

日米両政府は、米海兵隊垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの沖縄配備を決め、7月23日には経由地の山口県岩国基地への陸揚げを行いました。

オスプレイは、米国議会でも証言されているように開発・試験段階から墜落事故を繰り返しており、安全性の問題が取りざたされております。

また、米軍はオスプレイ配備の環境審査報告で岩国基地やキャンプ富士をはじめ、全国6つの低空飛行訓練ルートで訓練する計画を明らかにしており、その内の1つ、ピンクルートは秋田県上空に設定されております。

こうしたことから、山口県など24都道府県と岩国市をはじめ多くの市町村がオスプレイ配備反対・慎重の意見表明をし、7月19日には全国知事会が「関係自治体や住民が懸念している安全性が確認できない状況では受け入れることはできない」と搬入に反対する緊急決議を全会一致で採決しています。

また、事故を繰り返すオスプレイの低空飛行訓練は市民生活にとって重大な問題です。

2010年2月と6月には、米軍機の低空飛行訓練による爆音で比内鶏の圧死事件が起りましたが、騒音・その他が、畜産や観光・保育・教育等、市民生活全般に甚大な影響を与え、安全・安心を脅かすこととなります。

よって、政府は安全性が確認できないままのオスプレイの低空飛行訓練の中止を米国に求めるよう強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。